

ORIC NEWS

翔飛

ひしろう

入居企業紹介

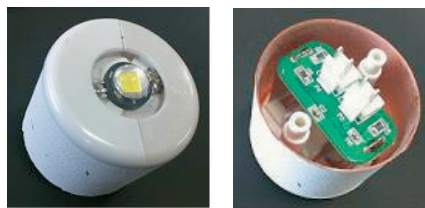
世界初！
A C 電源の L E D で
さらに長寿命を実現

(株)アクレッドの水銀灯代替 LED 照明
【ACLED-LIGHT】



特徴

- ◆ 家庭用交流電流の LED チップ
- ◆ 安定器のないスッキリ設計
- ◆ 摂氏 55 度以下の放熱設計
- ◆ 自社開発の放熱技術（特許第 4602477）
- ◆ 40,000 時間の長寿命
- ◆ 電球から 1000W 水銀灯まで対応可能



我々は L E D 照明の普及を通じて低炭素社会の実現に貢献したいと考えています。

500W の水銀灯



64W の L E D

1 年で約 500kg の CO₂ の削減

ACLED および AC LED は、株式会社アクレッドの商標登録です。

詳細は 7 ページをご覧ください

－ 本号の主な内容 －

巻頭言

研修・交流会活動

入居者の活動トピックス

新入居企業紹介

入居者紹介

イベント案内

No.31 (2011. 1)

「夢と元気あふれる岡山を目指して」

岡山県知事
石井 正弘



新年あけましておめでとうございます。

昨年開催しました「第25回国民文化祭・おかやま2010」は、大きな感動を残し、大成功のうちに幕を閉じました。ご尽力いただいたすべての皆様に心からお礼申し上げます。また、昨年は、都道府県対抗女子駅伝での岡山県チームの初優勝、バンクーバーオリンピック・パラリンピックでの高橋大輔・新田佳浩両選手のメダル獲得など、明るく元気の出る話題の多い年でした。

県政においては、喫緊の課題である経済・雇用対策に全力で取り組むとともに、「新おかやま夢づくりプラン」に掲げる3つの基本戦略「教育と人づくりの岡山の創造」「安全・安心の岡山の創造」「産業と交流の岡山の創造」に沿った諸施策を、さまざまな主体の方々とともに目標を共有し、「協働」の力で推進してまいりました。本年は、プランに掲げる推進目標の達成に向け、取組の総仕上げを図ってまいります。

「教育と人づくり」では、安心して子どもを健やかに生み育てる環境づくりや落ち着いた学校づくりなど、岡山の将来を担う人づくりに取り組みます。

「安全・安心」では、防犯ネットワークや防災・危機管理体制の整備、医療体制の確保、福祉サービスの安定的な提供、食の安全・安心の確保、持続可能な社会の実現に向けた環境対策など、安全・安心に、生き生きと暮らせる社会づくりを進めます。

「産業と交流」では、本県の持つ優位性や先進性を生かし、アジア市場も視野に入れた産業の育成・強化に取り組むとともに、「観光・交流拠点おかやま」

の実現を図ってまいります。また、新規就農者の確保・育成や本県の誇る高品質な農林水産物のブランド化の推進、国内外への販路拡大など、農林水産業の発展と農山漁村の再生を図ります。

さらに、昨年設置した「おかやま発展戦略会議」において、将来にわたり発展し続けていくための戦略を検討しており、その結果を踏まえ、本県の新たな発展につなげてまいります。

厳しい経済・雇用情勢が続いていることから、地域経済の安定的な回復と雇用の確保に向けて、引き続き確かな経済・雇用対策を推進してまいります。

地方分権改革の推進が強く求められている今、私は、真の分権型社会の確立に向け、中四国における拠点性の向上や県内各地域の主体的・自立的な地域づくりを協働の力で進め、将来にわたり発展し続ける「夢と元気」あふれる「暮らしやすさ日本一」の岡山づくりに邁進してまいります。

こうした中、昨年は岡山リサーチパークインキュベーションセンター（ORIC）では、入居企業である（株）日本ステントテクノロジーが岡山県工業技術センター等とともに日刊工業新聞主催の第5回モノづくり連携大賞で、「モノづくり連携大賞」を受賞されました。

今後とも、国内はもとより世界に羽ばたく優秀な企業を次々と育成し、ORICが本県産業の新分野を切り拓く推進役として、ますます大きな役割を担うことを期待しているところです。

引き続き、県民の皆様の力強いご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

■ 平成22年10月度ORICセミナー及びバーベキュー交流会

●ORICセミナー

「私の歩んだ道～クルマ・ものづくりの夢をカタチにする」 (株) 戸田レーシング



10月度のセミナーは(株)戸田レーシング 代表取締役社長の戸田幸男 氏に講演していただきました。

戸田氏は1970年にホンダS800で鈴鹿12時間耐久レースにGT1クラスドライバーとして参戦し、優勝しました。その後、22歳で(株)戸田レーシングを設立、F3をはじめとする様々なレースカテゴリーへ向けて、レースエンジン及びレースエンジンパーツの開発や多種多様のオリジナル部品の開発/製造/販売を手がけています。現在でも“TEAM TODA RACING”のオーナーとして全日本F3へ参戦し、活躍されています。

現在、同社は様々なエンジン部品や各種試作品製作に至る多くの業務を、全社員40人が、設計/製造/試験まで全てのものづくりの工程を自社内で出来る、製造一貫体制を構築しています。これにより、「ユーザー一人一人のための自社工場」をモットーにお客様の要望に徹底的にこだわったものづくりをおこなっています。長年に渡り、ものづくりで蓄積された技術やノウハウを凝縮し、オリジナルエンジンの自社開発を成功させました。様々なユーザーの要望に細かく応える事が可能な、「世界で1台のエンジン」を完成させています。

戸田社長は会社設立以来、数多く経験した好景気/不景気の動向から、経営の多角化や海外進出などは高リスクであると感じており、確実に進めていくべきと考えています。また、岡山が地元の会社として、従業員採用も可能な限り地元出身者を雇用するなど岡山に根差した会社になっているそうです。現在では、英国人1名を除き地元出身者を雇用しており、幅広い対応力と総合力のある社員に育てる方針としているそうです。これら基本理念が40人の少人数で幅広いものづくりに対応出来る要因だそうです。

戸田社長は講演の中でモータースポーツが盛んなヨーロッパの様子を映像で紹介されました。日本にモータースポーツを根付かせたいと長く思っているが、そもそもの文化の違い、車の歴史の長さの違いからか、多くの面でヨーロッパとの差は大きいと痛感しているそうです。しかし、戸田社長のモータースポーツへ懸ける思いは強く、今後もこれらの活動を続ける固い決意を参加者に熱く語り掛けていました。



自社開発のオリジナルエンジン



設計から試験まで全工程を行う矢掛工場

●バーベキュー交流会

猛暑が去りしのぎやすくなった10月14日に、今年度秋季のBBQ交流会を開催いたしました。セミナーで「自動車ビジネスへの思い」を熱く語ってくださった(株)戸田レーシングの戸田幸男社長も参加され、創業や自動車関連ビジネスなどを中心に語らいの輪が次々とできていたようです。今回の参加企業数はORIC内外併せて27社、またその他支援機関など11機関を含め、合計109名の御参加がありました。昨秋、今春に続いて100名を超える方々の御参加を頂いたことは、BBQ大会がORICに関係する皆様方の恒例の情報交換・交歓の場として定着しつつあることを物語っておりまして、主催者一同この上ない喜びであります。今回は特に関西地区の大学生の方がネットで本セミナーの情報をキャッチされ、遠路御参加された事が今までにない新鮮なことでした。来春以降も趣向に工夫を重ねより多くの方々の出会いの場となるよう努力してまいりますのでご期待ください。

●入居企業紹介

「新パターン認識技術を用いた検査装置の事業化について」 (株) 竹田技研

代表取締役の竹田博氏から、同社が開発した新しい方式による外観検査装置について、技術的な特長やニーズに対するマッチング可能性について詳しく説明していただきました。技術的な特長は「認識されたパターンの合否について統計的解析処理によって判断させる」と言うものであり従来にない新しい概念の装置であるとのことでした。装置の構成もシンプルであり、個別処理・連続処理にも対応可能とのこと、現在多くのメーカーが目視に頼らざるを得ない最終外観検査工程について、大きな省力化への助けとなる事を目論んでいるとのことでした。同社は本年7月に設立された初々しい会社であり、本技術を元にした発展が期待されております。



●ゲスト機関紹介

「小企業の元気を応援する、『こくきん』」 日本政策金融公庫岡山支店 国民生活事業



国民生活事業融資第二課長の古賀隆二氏から「融資制度のご案内（年末に向けた資金と創業に関する資金）」および「独自に実施している小企業動向調査」についてのお話がありました。新企業育成貸付制度や創業2年未満の方々への融資制度などについての詳しい説明やセーフティーネット貸付などについてのお話がありました。また小企業動向調査の結果をうけいくつかの調査内容が報告されました。たとえば、平成21年度の貸付総数は18,000件で一件平均の貸付額が600万円、平均創業者年齢が42.1歳、創業者の男女比率は85.5/14.5、創業時平均費用1,222万円〔内自己資金357万円〕など興味深いデータの説明をしていただきました。

●ORICセミナー

「最近の金融経済動向について」 日本銀行岡山支店

毎年11月のORICセミナーでは、「最近の金融経済動向について」と題して日本銀行岡山支店長にご講演頂いております。高橋支店長の講演も今年で3年目となります。

2010年は、リーマンショック後のリバウンドの年でした。エコカー補助金、エコポイント等の財政政策効果と海外（特にアジア）の経済復興による輸出の寄与によるものです。しかし、足下では、景気回復のスピードが一服しています。これは、産業への波及効果が大きい自動車産業向けのエコカー補助金制度が終了したことと、海外経済が減速してきたためです。バブル後の調整期のアメリカ、加盟国に問題を抱えるEU、構造調整中の日本と、先進国グループはいずれも調整期にあります。新興国は高成長を続けてきましたが、金融刺激策のために経済が過熱状態で、政策的に抑制策を取っています。調整後は、ゆっくりとした回復基調に戻ると考えています。

国際金融資本市場では、米ドルが金融緩和で価値を下げる中、円の魅力が増して円高になっています。日本は中国市場に地理的に近い点、円は自由に米ドルと交換できる点、日本の金融機関の資産は米国やEU諸国に比べて傷んでいないことなどが海外の投資家から評価されているためです。

このような状況下での見通しとしては、景気は改善が鈍化するものの、来年度には回復経路に乗ると見ており、消費者物価も来年度には、対前年比プラスに転じると見られるとのことです。ただ、いずれも急回復ではなく、ゆるやかなものと見ています。

日銀としては、今後も金融緩和の推進、金融市場の安定化、成長基盤強化を支援する資金供給を行っていくとのことでした。



●入居企業紹介

「鶏卵抗体に思いをこめて」 (株) イート



鶏卵抗体製造を企画している黒澤社長から、事業の概要についての説明がありました。鶏卵抗体とは、ニワトリの卵に含まれている抗体を抽出したものです。同社は、国内の2大学と共同研究を実施しており、「アユの冷水病」対策の薬や、アトピーに効果のあるクリームなどへの応用を考えています。鶏卵抗体は、安価で大量生産が可能であるが、まだ本格的に企業化している事業がないとのことで、今後の事業拡大が期待されます。

●ゲスト機関紹介

「岡山TLO、発明協会の事業」 岡山TLO、発明協会岡山県支部

まず、岡山TLOの三島・知財プロモーターから、岡山TLOの説明がありました。平成16年に事業開始し、大学の知財のライセンスを主業務としており、良質の出願案件には、TLOの費用で出願することもあるとのことでした。

発明協会からは大西アドバイザーと林コーディネーターから、それぞれ、特許調査・特許電子図書館について、課題解決型相談（出願初期からの段階的コンサルティング）について紹介と簡単な説明がありました。専門家派遣も行っており、5回までの派遣が可能とのこと、お気軽にご相談下さいとの事でした。



●ORICセミナー

「産学の出会いから製品化までの一事例」 岡山理科大学工学部情報工学科



島田秀之准教授から自らが産学連携の中で製品化した“道路の3Dモデル生成システム「MoMoS」”を事例に産学連携の取り組みについて説明していただきました。出会いは旭川の鮎の分布を調べる研究会に画像処理の専門家と呼ばれ、そこで自動車に搭載したままで点群データを計測する「移動計測システム（MMS）」を参加企業から紹介されたことです。その時の運命的な出会いを「瞳孔が全開した」と表現されました。

MMSの点群データは多すぎてすぐに3Dモデルを生成できるものではありませんでした。帰宅が午前になる日が続き実生活と3D画像の区別がつかなくなる「虚実混同の日々」の後に、GPSの時刻情報も取り入れた路面情報の確認などに使用可能な「MoMoS」を出会いから約2年間で完成させ、販売もできました。

この経験から“産学連携”は固い4文字であるが、『「いかに面白がるか」というとても情緒的な共同作業』と捉えていること。そして「7つの習慣」を参考に作成した右のような“響き合う産と学”を参加者に提案されました。



■ ベンチャーフェスティバル2010

(株)アクレッド ビジネスプランコンテスト 最優秀賞受賞

平成22年11月30日、メルパルクOKAYAMAにおいて「ベンチャーフェスティバル2010」（主催：岡山県・財団法人岡山県産業振興財団）が盛大に開催されました。ビジネスプラン発表ではビジネスプランコンテストに応募された25社の中から一次審査を合格された3社による素晴らしい発表がありました。その後に開かれた最終選考会において、11月にORICに入居された(株)アクレッドの佐藤隆泰社長が発表された『「AC駆動LEDチップモジュール」の開発、生産、販売およびメンテナンス』が、見事最優秀賞の栄光に輝き賞状と副賞100万円を獲得されました。また惜しくも最優秀賞を逃された(株)ハートバードの井上きよみ氏には審査員特別賞、エコ・ロジネットワークの木下寛子氏には奨励賞がそれぞれ授与されました。

基調講演ではITベンチャーとして創業後苦節10年、現在では東京渋谷で70数名の従業員とともに活躍されている(株)J-Payment代表取締役清久健也氏から、「企業経営で陥った罠と克服方法」と題してお話をいただきました。陥った5つの罠（資金繰り、人事、最初の売上など）についてのお話は、創業前後の方々の大いなる参考になったと思います。このほか成功させる要因、起業して楽しかったことなどの切り口のお話もいただきました。ご講演最後に「キーワードは『縁』」と強調された事が印象的でした。

基調講演の後、受賞者や講師も交えてベンチャー企業交流会が開かれました。立食による歓談・名刺交換に加えて各種ベンチャー企業のポスター展示もあり、非常に熱気に包まれた会となりました。

■ (株)日本ステントテクノロジー ものづくり連携大賞受賞

(株)日本ステントテクノロジーは産学官連携の優れた取り組みを表彰する「第5回モノづくり連携大賞」（日刊工業新聞主催、中小企業基盤整備機構共催）を受賞しました。授賞式は11月10日の中小企業総合展で行われ、同社の山下社長は受賞式後に行われたパネルディスカッションでもパネラーとして参加されました。

受賞案件は「医工学連携大学発ベンチャーによる自動車製造技術を横展開した国産の冠動脈用DLCコートステントの開発と事業化」で岡山県工業技術センター、トーヨーエイテック(株)、京都大学再生医科学研究所とともに受賞したものです。



新入居者紹介

2010年9月に開催された第30回入居審査会により下記3社が入居しました。

入居企業名	事業概要	所在地	分野
(株)アクレッド	・ 交流電流で駆動する LED モジュールの開発・販売	岡山市	機 械
おかやまバイマス イノベーション創造センター	・ 木質成分新素材および新規関連要素技術の開発	岡山市	化 学
末岡 浩治	・ 第一原理計算などの分子シミュレーション技術を用いた各種サービス	総社市	I T

株式会社アクレッド

代表者 代表取締役 佐藤 隆泰

連絡先 〒701-1221 岡山市北区芳賀5303 ORIC 115号室

TEL/FAX 086-286-8158

U R L <http://acled.jp> E-Mail info@acled.jp



新たな技術の研究開発および販売を通じて 『優しい社会』の実現を目指す。

- 1 夢 常に夢と希望をもって不可能を可能にする
- 2 勇気 自分自身に打ち勝つ勇気をもって行動する
- 3 信頼 社会から信頼をいただける誠実な行動に徹する

(株)アクレッドは岡山発ベンチャー企業として2010年6月に起業いたしました。我々の扱う商品は、今話題のLED照明ですがLED照明の中でも家庭用の交流電源のみで使える少し変わったLED照明です。このAC駆動のチップは、ソウル半導体(株)が世界パテントをもつ商品です。このチップに弊社で開発した放熱技術(特許第4602477)を組み合わせることで水銀灯に代わる大型のLED照明器具の開発に成功しました。

現在では、屋外用投光機(TKシリーズ)・屋内用ペンダント(DPシリーズ・DPSシリーズ)を販売しており、2011年1月までには街路灯(GTシリーズ)・看板用投光機(KTKシリーズ)を発売予定です。

弊社では、通常の販売に加えレンタルでの販売を手掛けており、LEDの社会的存在価値を高める努力をしています。

**導入費コストは、0円で
毎月の支払いは、電気代の中より捻出
二酸化炭素(CO₂)の大幅削減**

今後もLED照明の開発および販売を通じ明るい社会を目指してまいります。

＜会社沿革＞

平成22年3月 LEDの放熱技術の開発に成功

6月 株式会社アクレッド設立
同技術の特許出願(16日)

7月 ソウル半導体(株)と契約締結

10月 ORICへ本社移転
大型LEDモデルの完成

11月 同技術の特許取得(第4602477号)
投光機対応LEDモデルの完成
ベンチャー・ビジネスプランコンテスト
最優秀賞 受賞

12月 商標登録「ACLED」査定(商願2010-43480)
レンタルビジネスの開始
ライティング・フェア2011に参加決定

点灯前 (ORIC中庭)



点灯後 (ORIC中庭)



DPW430W32(128W)
35m先 点灯後70 ルクス

■「おかやま新商品フェスタ2011」(岡山県中小企業応援センター産業振興ネットワーク主催)

◆開催日：平成23年1月28日(金) 10:30~16:30

◆場所：岡山口イタルホテル 参加無料

- ◆開催概要：
- ① 展示商談会 10:30~16:30
 - ② 販路開拓商談会 13:00~16:00
 - ③ 記念講演会 13:00~14:30

講師：株式会社エーワン精密 取締役相談役(創業者)梅原勝彦氏

演題：「私はこんなことを考えながら「強い町工場」を作りました」

定員：100名(定員になり次第締め切り)

エーワン精密は経済産業賞・中小企業庁が選定する「2009年元気なモノ作り中小企業300社」に選ばれたほか、テレビ東京「カンブリア宮殿」にも出演されました。

- ④ 個別相談会 10:30~16:30

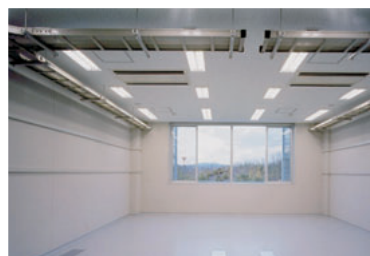
入居者募集中!!

センターでは随時入居のご相談に応じています。お気軽にお問合せください。

■施設使用料・空き室状況

(2011年1月現在)

施設区分	面積	使用料の月額 (減額後の使用料※)	部屋数	空き室数
研究室小	約 25㎡	45,000 円 (22,500 円)	22	5
研究室大	約 50㎡	88,000 円 (44,000 円)	30	7
試作開発室	約 100㎡	175,000 円 (87,500 円)	6	4
創業準備室	5㎡/ブース	5,000 円	6ブース	5ブース



※創業5年未満の会社は、入居後3年間は半額になる制度があります。

■次回募集

原則として3ヶ月ごとに入居審査会を開催しています。

次回は2月末までに事業計画書を提出された方を対象に、3月中に開催の予定です。
(創業準備室の募集は随時受付けています。)

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.oric.ne.jp>